

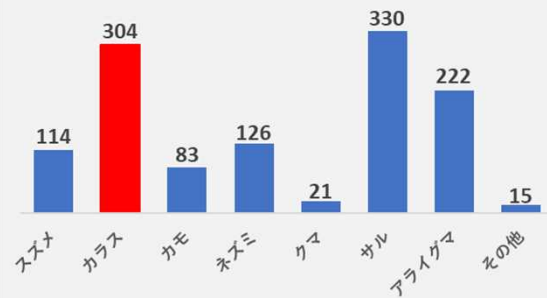
無意識な

カラスへの「餌付け」ストップキャンペーン

野生鳥獣による農作物被害が続いています。その中でもカラスは、ゴミ荒らしや糞による道路の汚染など、私たちの普段の生活にも影響を及ぼしています。

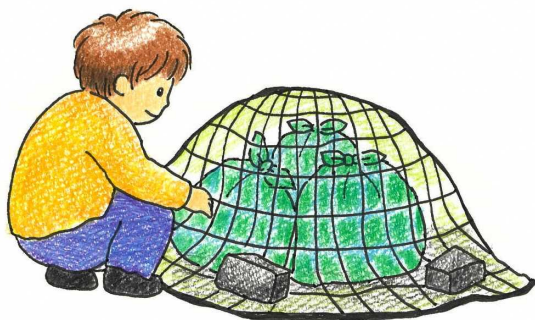
カラスは冬期間の餌を減らすことで個体数を減少させることができ、被害軽減につながります。みなさんの協力が必要です！！

西北管内の野生鳥獣による農作物被害状況
(令和3年度、単位：万円)



「無意識な餌付け」になっている事例

① 生活ごみの放置



ゴミにネットを被せるなど、カラスに荒らされないように工夫しましょう。

② 出荷しない農作物の放置



出荷しない果実や野菜は、土に埋めるなどカラスに見えないようにしましょう。

③ 庭木の果実・家庭菜園の放置



庭木の果実・家庭菜園はすべて収穫・撤去しカラスに食べられないようにしましょう。

- ・カラスは代謝が高く、数日間餌を食べられなければ餓死してしまうと言われています。
- ・自然界の餌が少なくなる冬に、“いかに広域で餌を与えないか”ということがカラス対策のポイントです。

**11月はキャンペーン強化月間です。
身の回りの点検をお願いします！**